月刊 モンキー！

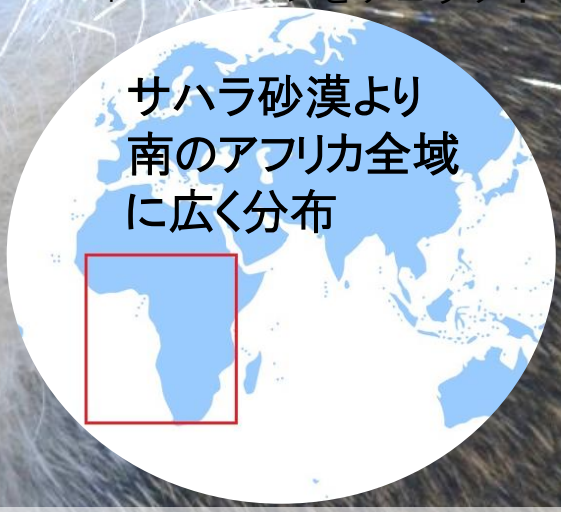
動物園版

2016年は申年

かみね動物園で暮らす
15種類のサルたちを
毎月紹介

6
2016
毎月10日発行

カラー版はかみね動物園
ホームページをチェック！



レッドリスト：LC(軽度懸念)
ワシントン条約：付属書Ⅱ
現在絶滅の心配はありません。しかし、生息環境は悪化しており個体数の減少が懸念されています。

今月のピックアップモンキー

サバンナモンキー

英名Grivet/Savanna Monkey　学名*Chlorocebus aethiops*
霊長目オナガザル科
複雄複雌の群れをつくり、地域で変異が見られます。寿命は飼育下で25年程度。果実、種子、木の葉、昆虫、小動物など何でも食べます。

☆ここに注目☆

毛の色は...緑色！？

「サバンナモンキー」という種名でかみね動物園は表記していますが、実は色々な呼ばれ方をしています。その中の一つが「ミドリザル」。体を覆う毛の色が緑色に見えるからとのことです。緑？う～ん、ちょっと微妙？？太陽に照らされているとオリーブ色位には見えるでしょうか...生息地が広いサバンナモンキーは場所によって見た目にも少し違いがあります。もしかしたらかみね動物園の２頭はあまり緑色がかっていない毛色の持ち主なのかもしれませんね。あなたには何色に見えますか？

メンバー紹介

サナ（メス♀）	ケビン（オス♂）
2001年5月9日 かみね動物園生まれ	2011年推定4歳で 東武動物公園より来園
体が小さく飼育員が嫌い… でもケビン君は大好き！	体が大きく獣医さんが嫌い… でもサナちゃんは大好き！

２頭で寄添って日向ぼっこをしたり、グルーミングをしたりとっても仲良し！
お互いのことは大好きですがケビン君はベテラン獣医Mが嫌いな様子...お部屋にいる時に急に威嚇の声を出すのでなぜ？と思っているとガラスの外をM獣医が歩いていたことがありました。健康体のケビン君は治療をされた事はありません...他のサル達の治療を見てるからなのかな？

アフリカ版のニホンザル？！

サバンナモンキーはアフリカ大陸のいたる所で観察することができます。サルというと木の上で暮らしているイメージが強いですよね。でもサバンナモンキーは地面に降りてくることが多く、ニホンザルと同じく地上性の強い種類のサルです。
また、私がタンザニアに行った時もサバンナモンキーに出会うことができたのですが、なんとそこは宿泊した宿！食事のできるテラスのような所でした。こちらの様子をうかがいつつもリラックス。みんなが写真を撮るために席を離れると今度は人の少なくなったテーブルの上へ他のサバンナモンキーが！あっさりと朝食を奪われました...日本でも同じような状況を聞きますよね。サバンナモンキーはアフリカのニホンザルのような存在？なのかもしれません。

ソファーの下で
くつろぐ野生の
サバンナモンキー

☆ここに注目その２☆

サバンナモンキーの見た目はあまり派手ではありません。でもオスの陰嚢は青色、陰茎は赤色をしています。遠くからでも分かるほど鮮やかな色をしているんです。鮮やかなほどメスにとっては魅力的にみえるそうですよ！

飼育員の一言

先月のアビシニアコロブスに続き、サバンナモンキーも３月のどうぶつ総選挙で最下位となってしまいました...
知名度も低く、お隣のマンドリルのような派手さはないですが魅力的なサルなんです！ぜひ足を止めて注目して下さい！！

サル担当